



令和3年6月25日 野々市寿大学校で講師を務めさせていただきました

ごあいさつ

令和3年7月5日

6月13日、県では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の減少から、「石川緊急事態宣言」を解除しました。さらに、30日には、落ち着いた状況が続いていることから、モニタリング指標がステージⅡ（感染拡大注意報）からステージⅠ（感染要注意）へと引き下げられました。

しかしながら、未だ予断を許さない状況であることは変わりません。本市でも、6月14日から、各施設の感染防止対策を徹底したうえで、利用制限や自粛の措置を解除しておりますが、マスクの着用や、三密の回避など、これまでの基本的な感染防止対策を継続していただきますようお願い申し上げます。

本市における新型コロナワクチン接種は、開始当初、予約の電話が繋がりにくいなど、大変なご不便とご心配をおかけしましたが、現在は、皆様のご理解をいただく中で、順調に進めることができいております。

65歳以上の高齢者の方や、基礎疾患をお持ちの方、そして高齢者施設などの従事者の方への接種状況は、6月末時点で、1回目の接種を終えた方が65.9%となっています。6月中には、19歳から22歳、そして60歳から64歳の皆さんに、接種券を送付させていただき、さらに、23歳から59歳の皆さんへも年代を区切り、7月中に順次送付の予定としております。

国のワクチン供給については、さまざまな報道もありますが、何よりも市民の皆さんが安全に安心して接種できるために、最善を尽くすことが市の役割です。引き続き、万全の態勢で臨んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

昨年、初めて全国1位の評価をいただいた東洋経済新報社の「住みよさランキング」が今年も発表され、本市が2年連続の全国1位となりました。このランキングは、全国812の市区ごとに“住みよさ”を表す指標を算出し、総合評価として順位付けしているものです。

2年連続の1位に、驚きの方が大きく、市内外の皆さんから祝福をいただくことで、ようやく喜びの実感が増しています。市内の小学校では、児童の皆さんが全国1位にテンションが上がっていると聞いておまして、「わがまち自慢」として、野々市に誇りを持っていただけることを何よりも嬉しく感じています。

野々市ってどこ？と全国各地でそう思われることで、知名度アップの効果は絶大です。各自治体では、住まいを移される「定住人口」や、観光で訪れる「交流人口」だけではなく、その地域にさまざまなカタチで関わりを持つ「関係人口」を増やす取組みに注力しています。本市においても、野々市に興味を持ち、関わってくださる方、野々市を応援してくださる方を「野々市ファン」として、その拡大に向けて、さらに取組みを行ってまいりたいと思っています。

野々市に住んでよかった、住み続けたいと思っていただけるよう、そして、遠くからでも野々市を想っていただけるよう、魅力のあるまちづくりに努めてまいります。